

# 第17回 ありみね高校生学びの森

- 2021年8月2日(月)～8月3日(火) -



## ニュースレター No.2

8月2日(月): 動物班・植物班別に有峰の動植物についての調査活動(有峰周辺)

8月3日(火): 動物班・植物班別にデータまとめ作業及び調査報告発表  
(富山県農林水産公社 3階)

森の中に入る なぜだか なつかしい  
それは 我々の遺伝子に深く刻まれた  
生命の記憶のせいかもしれない  
自分が 森に吸い込まれて  
森とひとつになっていくようだ

森羅万象 — 森はすべてを包含している  
森を知って 宇宙を知る  
森を知って 自分を知る  
森での学びによって 森の力を自分の力としたい  
生涯にわたる学びの一步が 有峰の森からはじまる



ブナの実  
(西谷にて8月2日撮影)



第17回ありみね高校生学びの森 夏季研修 農林水産公社にて記念撮影

## 【概要】

令和3年8月2日(月)～3日(火)、第17回「ありみね高校生学びの森」第2回目の夏季研修を開催しました。夏季研修は、コロナ禍により宿泊を伴わない日程に変更し、2泊3日から日帰りの2日で実施しました。8月2日は有峰にて動物班・植物班別に現地調査活動を、8月3日は農林水産公社(富山県森林水産会館3F)にて班別にデータまとめと発表を行いました。

夏季研修の参加者は、県内の高等学校17校より講師合計17名と県内の高等学校6校より生徒合計14名、合計31名でした。コロナ禍での対応として毎日の、検温とアルコール消毒・マスク着用を徹底、36名乗りのバス乗車定員を最大15名/台とするなど参加者の健康管理・安全に配慮しながら実施しました。

### <1日目> 8月2日(月)

初日8月2日は、8時30分富山駅北口を出発、午前10時過ぎ有峰ハウス前広場ではじまりの会を実施、有峰森林文化村次長中川の挨拶に続き、講師リーダー福田先生より本日の日程等について説明を戴きました。その後有峰ハウス前広場よりバスで移動、午前中から動物班(昆虫班)と植物班との分かれ活動を開始しました。



はじまりの会で夏季研修の日程  
を説明するリーダーの福田先生  
(有峰ハウス前駐車場にて8月2日撮影)



はじまりの会で挨拶する  
有峰森林文化村次長中川  
(有峰ハウス前駐車場にて8月2日撮影)

### 【動物班】(昆虫班) 桐山カラマツ林にて生物調査(10:40～11:50)

動物班は望月講師指導の下、桐山カラマツ林で前日8月1日に設置したホールトラップやバナナトラップを回収し、コップに落下した生物(昆虫類中心)やバナナトラップに誘引された生物の観察・調査を行いました。ホールトラップは、誘引物を入れたプラスチックコップを地面と同じ高さになるように埋め、翌日コップに落下した昆虫を採集する仕掛けです。今回は誘引物として、食酢、ビールと焼酎を使用しました。回収したコップから、オサムシ、ゴミムシ類、クワガタムシやカマドウマなどを回収し観察することができました。一方、バナナトラップからは甲虫のハナムグリ類を回収・観察することができました。その他、桐山カラマツ林では、ナミザトウムシ、ナナフシの幼虫やシャクガ類の幼虫シャクトリムシなども観察することができました。



桐山カラマツ林にてバナナトラップ  
を回収中の生徒(8月2日撮影)



桐山カラマツ林にてナナフシ  
観察中の生徒(8月2日撮影)

**【昼食】(冷タ谷キャンプ場) 12:10~13:00**

冷タ谷キャンプ場で動物班・植物班ともに昼食。

昼食後雑賀講師より、桐山の三叉路付近で採集したヒダサンショウウオ幼生の説明を受け、観察を行いました。本種は、流水性のサンショウウオであり、幼生は指先に爪があり、頭部は平べったく流れのある環境に適した形態を持っていました。



ヒダサンショウウオについて説明中の雑賀先生  
(冷タ谷キャンプ場にて8月2日撮影)



ヒダサンショウウオ観察中の参加者  
(冷タ谷キャンプ場にて8月2日撮影)

**【動物班】西谷川にて水生生物調査 13:20~14:50**

有峰の森は天然のダムとも言われ、小さな沢が点在しています。2019年の引き続き、西谷川で、水生生物の調査を実施しました。この川の水生生物の観察を通して、河川の地形や、水質を調べ、生物の多様性について考えて見ることです。川の環境調査として、気温、水温、pH、礫、水深など川周辺の環境を記録しました。タモ網や金属製のざるなどを用い、この川に生息する水生生物(水生昆虫、両生類や魚類)を採集し、バットに入れたり、プラスチックの水槽に入れたりして、水生生物の観察を行いました。調査・観察後、両生類と魚類は元の川に戻しました。採集した水生昆虫は、翌日の種名同定の為、70%アルコールで固定しました。

今回の調査では、両生類としてアズマヒキガエルやハコネサンショウウオを採集、観察することができました。魚類としてニッコウイワナを採集、観察することができました。水生昆虫としてはカゲロウ目、カワゲラ目やトビケラ目のに加え、トンボのヤゴ(幼虫)などを採集、観察することができました。



水生生物調査・観察中の参加者



環境調査中の参加者

**【植物班】西谷(林道先480mの歩道100m先)にて植生調査 10:40~11:50 13:20~14:50**

植物班は、氷見講師指導の下、西谷の奥の標高1179mのブナ帯樹林の調査区に18m×18mの方形区を設置し、毎木調査を行いました。巻尺で林内に方形区を設定後、最初に斜面方向と斜度を記録しました。林内の写真と林冠方向の写真を撮影しました。次の2m以上の樹木を対象とし、樹種、位置(X軸、Y軸)、胸高周囲、樹高および樹冠を計測、野帳に記録しました。各計測値をExcel1で解析し、基底面積と樹冠面積が大きい種を優占種と定めます。



方形区毎木調査について説明中の  
氷見講師(西谷にて8月2日撮影)



方形区毎木調査中の参加者  
(西谷にて8月2日撮影)

#### 【ふりかえりの会】15:05～15:30

有峰ハウス前広場にてふりかえりの会を実施、有峰森林文化村次長中川よりの挨拶に続き、霜鳥主任指導員より明日の日程について説明し、ふりかえりの会を終了しました。



ふりかえりの会で挨拶する  
有峰森林文化村次長中川  
(有峰ハウス駐車場にて8月2日撮影)



明日の日程説明する有峰森林文化村  
霜鳥主任指導員  
(有峰ハウス駐車場にて8月2日撮影)

#### <2日目> 8月3日(火)

富山県農林水産会館3F303号室に9時に集合。有峰森林文化村霜鳥主任指導員より日程の案内後、午前中9時15分から、動物班、植物班に部屋を分けて、前日と春の調査内容を中心に、データのまとめを行いました。昼食後も14時30分まで、発表資料をまとめました。従来の模造紙を活用した発表形式に加え、今回はSNSを活用し参加者から送付された活動写真をパワーポイントに挿入し、発表用資料を作成しました。

各チーム毎に14時30分より15時30分まで、植物班、動物班の順番で、参加の高校生全員から発表を行い、質疑の時間も設けました。15時30分より、生徒に感想文を記載戴きました。15時50分よりふるかえりの会を開催し有峰森林文化村次長中川より挨拶後、リーダーの福田講師より2日間の総評を戴き、夏季研修を終了しました。



本日のスケジュールについて説明中の霜鳥主任指導員



本日のデータのまとめ方について



データ整理中の動物班のメンバー



種名同定中の動物班のメンバー



データのまとめ方についてアドバイス中の堺講師と細口講師



データ発表中の植物班のメンバー



パワーポイントで発表中の動物班のメンバー



パワーポイントで発表中の植物班のメンバー



ふりかえりの会で総評するリーダーの福田講師



ふりかえりの会で挨拶する有峰森林文化村次長中川

# 活動MAP

令和3年8月2日(日)

